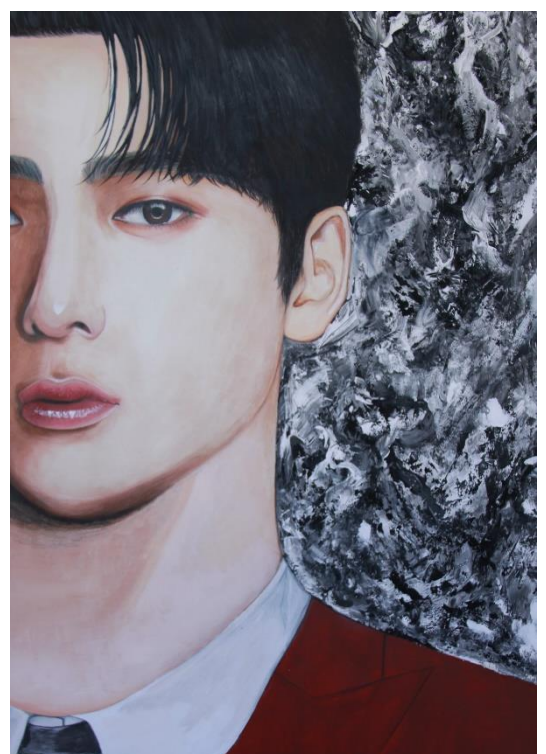


# 令和4年度 美術部の取り組み

**美術部の活動のメインは、春、秋二回の美術展出品へ向けた作品作りです**

☆美術部の取り組みの中心は、春と秋に開催される二つの美術展へ向けての作品制作です。  
春の美術展は、正式には「第42回県総文石川県高等学校総合文化祭美術展」といい、今年度は令和4年5月31日（火）～6月5日（日）の日程で、金沢21世紀美術館市民ギャラリーAで開催されました。  
また、秋の美術展は、運動部の新人戦と同じで、1，2年生のみの出品となり、正式には「令和4年 石川県高等学校文化連盟 秋期 高校生の美術展」といい、春の美術展同様、金沢21世紀美術館で開催されました。それぞれの美術展に出品した作品の一部を紹介します。

## 春の美術展 出品作品



秋の美術展 出品作品



## 学校祭では1年生はステージ上の横断幕を、2年生は模擬店を担当します！

☆学校祭のステージ上に飾られる「学校祭スローガン」作成は1年生部員の担当です。アイデア出しから作成まで、夏休み中の部活動のメインとなります。多くの方の目に留まるので、やりがいのある活動です。

また、2年生は、模擬店担当です。お店の運営は全員で行いますが、模擬店に関する企画・立案は2年生が行います。今年度は、「おかしなおかし工房」という店名で、来店者の方々に「お菓子みたいなキーホルダーづくり」に挑戦していただきました。2年生が考えた企画内容の説明には、「お菓子の袋のようなキーホルダー作りをします。参加費は無料です。思い出作りやインスタ映えにおすすめです。」と書かれています。ちなみに、透明ケースは、2年生がすべて手作りしたものです。



1年生部員が横断幕を制作している様子



横断幕がステージ上に設置された様子



部員が手作りした透明ケースに自分の好みのビーズを入れ、オリジナルのキーホルダーを作ります！

☆以前は、金沢美術工芸大学の学生さんたちとコラボして「黑板アート制作」などもやっていました。一日も早く、もっと自由な制作活動ができるよう願っています。